

こ だ ま

東中祭大成功 ～私たちは、何を学んだのだろう～

東中祭が、無事終わりました。準備期間を含めて、とても充実した日々でした。新しい伝統を築こうと、各カテゴリにおいて、さまざまな工夫が見られました。1年生は、舞台上で発表する人をはじめ、展示物観賞の態度、食事時のようすなどを見ていると、とてもよくできていました。

さて、1年生は、今回の行事を通して何を学んだのか、反省をもとにまとめてみました。

- 私は、カテゴリの練習で分からないことを教え合ったりして、みんなと協力したからこそ、いい演奏ができたと思います。・・・今回の東中祭で、みんなを一つにまとめる力を先輩から学びました。先輩の指示は、とても分かりやすかったので、見習いたいと思います。
- 作品づくりに集中してがんばりました。納得のいく作品はできませんでしたが、楽しかったです。
また、みんなと協力して、準備や片づけができました。今回の東中祭で、先輩は後輩を導く大事な役目があることが分かりました。
- 前日までの取組は、初めて演奏した曲がたくさんあった人もいたけれど、パートの人が教えてあげるなどしたり、楽器を運ぶときも、自分だけでなく違うパートの人の楽器を運んであげたりして、協力できました。
- 自分の作っている作品が終わったら、終わっていない人の作品をみんなで手伝ったりして、絶対に一人では作れない作品を完成させました。みんなと協力して、一つのものを作る楽しさと、達成感を味わうことができました。
- 今回の東中祭で、積極的に行動したり、先輩の姿を見て学ぶべきことを理解したりして、自分を見直すことができました。
特に3年生は、今までの伝統を受け継ぎ、つなごうという思いがものすごく伝わったので、自分たちも、先輩の思いを裏切らないようにしていこうと思います。

明後日は長距離走大会です。体調を整え、ベストを尽くしましょう。

昼は、お弁当です。忘れないでください。